



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所 東
 コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 隆利
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田 努 (TEL) 06-6441-0054
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	57,968	15.2	4,329	8.4	5,399	12.6	3,753	9.1
2022年3月期第1四半期	50,326	23.3	3,995	241.8	4,797	190.8	3,439	183.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12,297百万円(96.5%) 2022年3月期第1四半期 6,258百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 101.38	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	92.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 337,862	百万円 219,461	% 64.3
2022年3月期	332,620	209,757	62.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 217,282百万円 2022年3月期 207,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 120.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	60.00	—	70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,000	14.1	8,600	5.1	9,200	0.5	6,800	2.6	183.69
通期	240,000	11.2	20,000	12.1	20,600	2.8	14,900	2.5	402.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	38,281,393株	2022年3月期	38,281,393株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,263,602株	2022年3月期	1,263,127株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	37,017,864株	2022年3月期1Q	37,014,750株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～6月30日)における世界経済は、ロシア、ウクライナ情勢の影響による部品不足やエネルギー価格の高騰、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中国主要都市のロックダウンによる物流の混乱など、先行きの不透明な状況が続きました。

わが国においても、新型コロナウイルスの新規感染者数減少に伴い各種経済活動が再開された反面、部品不足やエネルギー・素材価格の高騰に伴う物価の上昇、急激な円安の進行など先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおいても部品不足や素材価格高騰などの影響を受けましたが、チェーン事業の販売が好調であったことや円安の影響などにより、当第1四半期連結累計期間の受注高は657億35百万円(前年同期比18.2%増)、売上高は579億68百万円(同15.2%増)となりました。

損益につきましては、営業利益は43億29百万円(同8.4%増)、経常利益は53億99百万円(同12.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億53百万円(同9.1%増)となりました。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、「長期ビジョン2030」に掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向けて、「Linked Automation テクノロジー」により、社会課題解決への貢献を目指しております。

また、2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の達成に向けて、既存事業での収益力強化と持続的成長につながる新事業開発に注力しております。

(Linked Automation テクノロジー：高機能化と高度オートメーション化された技術領域)

セグメント別の概況は次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国・台湾において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は234億60百万円(前年同期比19.5%増)、売上高は210億93百万円(同26.6%増)、営業利益は30億91百万円(同26.7%増)となりました。

[モーションコントロール]

モーションコントロールにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋、中国において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モーションコントロールの受注高は67億87百万円(前年同期比18.3%増)、売上高は51億4百万円(同13.1%増)、営業利益は3億31百万円(同78.6%増)となりました。

[モビリティ]

モビリティにつきましては、日本、欧州などの拠点における自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が減少しましたが、タイ、韓国の拠点において同商品の販売が増加したことや為替の円安影響などにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モビリティの受注高は183億55百万円(前年同期比7.3%増)、売上高は181億5百万円(同5.9%増)となりましたが、エネルギーや素材価格の高騰などにより営業利益は15億6百万円(同30.3%減)となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における物流業界向けシステムや米州における自動車業界向けシステムの売上が減少しましたが、日本国内において自動車業界向けシステムや金属切り屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は164億36百万円（前年同期比31.2%増）、売上高は130億70百万円（同13.3%増）となりました。損益につきましては、原価低減に努めたことや米州における追加工事完了に伴う費用の減少などにより1億53百万円の営業損失(前年同期は4億20百万円の営業損失)にとどまりました。

[その他]

その他の受注高は6億95百万円（前年同期比11.7%増）、売上高は5億94百万円（同13.7%増）、損益につきましては1億33百万円の営業損失(前年同期は1億12百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して52億41百万円増加し、3,378億62百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が21億47百万円減少した一方で、仕掛品の増加などにより棚卸資産が45億23百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して27億63百万円増加し、1,692億75百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落などにより投資有価証券が8億10百万円減少した一方で、有形固定資産が21億26百万円、無形固定資産が7億51百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して24億78百万円増加し、1,685億86百万円となりました。

(負債)

負債は、未払金の増加などによりその他の流動負債が28億77百万円増加した一方で、借入金40億67百万円減少したこと、賞与引当金が24億7百万円減少したこと、未払法人税等が22億72百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して44億62百万円減少し、1,184億円となりました。

(純資産)

純資産は、為替の変動により為替換算調整勘定が89億69百万円増加したこと、利益剰余金が11億61百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して97億4百万円増加の2,194億61百万円となり、自己資本比率は64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2022年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,104	46,956
受取手形、売掛金及び契約資産	45,773	45,693
電子記録債権	13,358	13,700
有価証券	6,339	6,206
商品及び製品	22,357	23,642
仕掛品	14,250	16,254
原材料及び貯蔵品	12,400	13,634
その他	3,620	3,931
貸倒引当金	△692	△745
流動資産合計	166,512	169,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,887	32,559
機械装置及び運搬具（純額）	37,341	38,096
工具、器具及び備品（純額）	3,775	3,775
土地	37,694	37,750
建設仮勘定	4,220	4,862
有形固定資産合計	114,918	117,044
無形固定資産		
のれん	2,496	2,701
その他	8,204	8,749
無形固定資産合計	10,700	11,451
投資その他の資産		
投資有価証券	32,245	31,434
退職給付に係る資産	42	50
その他	8,307	8,706
貸倒引当金	△107	△102
投資その他の資産合計	40,488	40,089
固定資産合計	166,107	168,586
資産合計	332,620	337,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,610	19,385
電子記録債務	9,762	9,509
短期借入金	8,591	8,622
1年内返済予定の長期借入金	4,551	573
未払法人税等	3,152	880
賞与引当金	5,164	2,757
工事損失引当金	85	73
受注損失引当金	11	3
株主優待引当金	43	20
営業外電子記録債務	1,286	1,523
その他	16,577	19,455
流動負債合計	67,839	62,806
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	9,727	9,606
役員退職慰労引当金	140	134
退職給付に係る負債	14,196	14,453
資産除去債務	441	445
その他	15,517	15,953
固定負債合計	55,023	55,593
負債合計	122,863	118,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	13,569	13,569
利益剰余金	165,878	167,040
自己株式	△4,220	△4,221
株主資本合計	192,304	193,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,716	14,144
繰延ヘッジ損益	△75	△127
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	11,622	20,592
退職給付に係る調整累計額	△196	△178
その他の包括利益累計額合計	15,452	23,816
非支配株主持分	2,000	2,179
純資産合計	209,757	219,461
負債純資産合計	332,620	337,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	50,326	57,968
売上原価	35,596	41,206
売上総利益	14,730	16,762
販売費及び一般管理費	10,734	12,432
営業利益	3,995	4,329
営業外収益		
受取利息	30	59
受取配当金	581	708
為替差益	90	576
その他	251	195
営業外収益合計	953	1,540
営業外費用		
支払利息	52	60
デリバティブ評価損	—	323
その他	99	86
営業外費用合計	151	470
経常利益	4,797	5,399
特別利益		
関係会社清算益	4	—
特別利益合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	4,801	5,399
法人税、住民税及び事業税	1,056	1,113
法人税等調整額	280	486
法人税等合計	1,336	1,600
四半期純利益	3,464	3,799
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,439	3,753

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,464	3,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682	△571
繰延ヘッジ損益	57	△52
為替換算調整勘定	2,005	9,071
退職給付に係る調整額	24	18
持分法適用会社に対する持分相当額	22	32
その他の包括利益合計	2,793	8,498
四半期包括利益	6,258	12,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,119	12,117
非支配株主に係る四半期包括利益	138	180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーショ ンコ ント ロール	モビ リ テイ	マテ ハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,663	4,512	17,092	11,535	49,804	522	50,326	—	50,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	424	104	0	26	555	146	702	△702	—
計	17,087	4,616	17,092	11,562	50,360	668	51,028	△702	50,326
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	2,439	185	2,160	△420	4,364	△112	4,252	△257	3,995

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△257百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△280百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーショ ンコ ント ロール	モビ リ テイ	マテ ハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,093	5,104	18,105	13,070	57,374	594	57,968	—	57,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	393	136	—	4	534	148	682	△682	—
計	21,487	5,240	18,105	13,074	57,908	742	58,651	△682	57,968
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	3,091	331	1,506	△153	4,775	△133	4,641	△312	4,329

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△312百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。